

11月9日名古屋・御園座

細川たかし特別公演&ダチョウ倶楽部一座旗揚げ公演 開幕！

結成35周年のダチョウ倶楽部が、芸能界の大先輩、演歌の大御所・細川たかしの胸を借りて**ダチョウ倶楽部一座旗揚げ公演**となる「西遊記」に挑みます。



孫悟空（寺門ジモン）、沙悟浄（肥後克広）、猪八戒（上島竜兵）は、仏典を求め遙か天竺を目指し旅をする唐僧・玄奘三蔵法師（細川たかし）をお供する。



岩屋で休息を取っている三蔵法師の眼前に幽鬼が現れ、自分は烏雞国の皇帝（川崎麻世）で、妖魔に騙され井戸の中に閉じ込められて死んだ。今ではその妖魔が自分になりすまし、皇帝として振舞っている。無念を晴らし国を災いから救って欲しいと訴える。

夢か、うつつか、幻かー。

目覚めた三蔵法師は、悟空らが川で汲んできた水を飲み喉を潤すが、暫くすると腹痛を起こす。

困った悟空らは、菩薩様（加藤茶）に助けを求める。
菩薩によると川は子母河といい、この国は女だけの国で、
成人すると子母河の水を飲んで子を孕む。

「つまり三蔵は懐妊、身籠もったのだ」と告げる。

驚く三蔵たちに「西北の方千里にある落胎泉という井戸
の水を飲めば、腹の子は体から出て天に昇り再び子母河へ

戻る。だが落胎泉には妖怪・如意真仙が居て、貢物を差し出さねば水をくれぬ」と教える。
さっそく悟空らは筋斗雲に乗り落胎泉を目指す。

途中で立ち寄った街が、偶然にも烏雞国で、后（小林綾子）と皇帝と出会う。

“師匠が夢を見たんだ、と悟空らが思ったその時、皇帝の亡霊が三人の前に現れ、
自分が本物で、一族の証になる玉器・白玉圭があると言い残し消えて行った…。

果たして三蔵法師が見たものは夢か、現実か。身籠もった三蔵法師はどうなるのか—



ダチヨウ倶楽部のお決まりのギャグや体を張ったが芸を惜しみなく披露し、客席が笑いの渦に！ それだけではありません！ 立ち廻りや歌舞伎仕立てのさまざまな仕掛けを盛り込むなど、今までにない『西遊記』をご覧ください。

そして姫役の野呂佳代、偽八戒の若者・八戒役の前田耕陽、落胎泉の妖怪・如意真仙役の成瀬正孝らも加わり舞台を盛り上げます。

劇場でぜひご覧ください。お待ちしております。

細川たかし特別公演&ダチョウ倶楽部一座旗揚げ公演

1部：脚本・演出：岡本さとる『西遊記』

2部：歌謡ステージ『細川たかしとファミリーたち』

●日程：2019年11月9日（土）～11月24日（日）＜開演＞昼の部11時、夜の部16時。

※日により貸切や休演あり。詳しくは御園座ホームページでご確認ください。

●会場：御園座（名古屋市中区栄1-6-14）地下鉄東山線、鶴舞線「伏見駅」6番出口

●料金：A席14,000円 B席8,000円 C席4,000円

●チケットは御園座チケットセンター052-308-8899またはweb予約＝御園座ホームページから

●お問い合わせ：052-222-8222 <https://www.misonoza.co.jp/>

2部は細川たかしの真骨頂、歌唱ショーです。

別紙レポートしています。ご覧ください。